さらば邪馬台国（部分）

解けるー
卑弥呼姉妹
邪馬台国の謎
日本書紀の中の…

（人物写真は本書の
主張や内容とは一切
関係ありません）

ヤマトトオル著
（写真／Mika+Rika）

目次

ヤマトトオル著 1
天皇系譜 1
参考目次 2
＊さらば邪馬台国 4
（終） 6

ヤマトトオル著

（C）2017 YAMATO Toru

天皇系譜

◇◆◇

初代　神武天皇（元年辛酉紀元前６６０年。神武 76 年崩御）
第２代 綏靖天皇（元年庚辰紀元前５８１年。綏靖 33 年崩御）
第３代 安寧天皇（元年癸丑紀元前５４８年。安寧 38 年崩御）
第４代 懿徳天皇（元年辛卯紀元前５１０年。懿徳 34 年崩御）
第５代 孝昭天皇（元年丙寅紀元前４７５年。孝昭 83 年崩御）
第６代 孝安天皇（元年己丑紀元前３９２年。孝安１０２年崩御）
第７代 孝霊天皇（元年辛未紀元前２９０年。孝霊 76 年崩御）
第８代 孝元天皇（元年丁亥紀元前２１４年。孝元 57 年崩御）
第９代 開化天皇（元年甲申紀元前１５７年。開化 60 年崩御）
第 10 代 御間城入彦五十瓊殖天皇崇神天皇（元年甲申 紀元前 97 年。崇神 68 年崩御）
第 11 代垂仁天皇（元年壬辰 紀元前 29 年。垂仁 99 年崩御）

◇◆◇

（※本書は、下記の『小説日本書紀編纂録［邪馬台国編（上・下)］』の目次の中から、「＊さらば邪馬台国」の項目の一部を抜粋したものです）

参考目次

小説日本書紀編纂録［邪馬台国編（上・下)］目次

序章　　.....１３

検章　　.....２３
＊神との結婚（１）.....卑弥呼は倭迹迹日百襲姫か、大倭国阿礼（くにあれ）姫か
＊神との結婚（２）
＊神との結婚（３）
＊海幸彦と山幸彦.....神武天皇の祖父　.....３５
＊海幸彦山幸彦の父
＊大国主
＊門外不出の系図
＊卑弥呼が多すぎる？
＊両系図の妙な人物、日本得魂命
＊山幸彦は紀元前 51 年没？　.....６８
＊神武を助けた男
＊海幸彦山幸彦の曾祖父
＊古事記、日本書紀の神話は盗作か？
＊卑弥呼への道　.....８９
＊中国史書の卑弥呼、台与　.....９２
＊古代天皇皇后系図　.....１００
＊第１代神武天皇
＊第２代綏靖天皇
＊第３代安寧天皇　.....１０７
＊第４代懿徳天皇　.....１１１
＊第５代孝昭天皇　.....１１４
＊第６代孝安天皇　.....１１９
＊第７代孝霊天皇（桃太郎伝説）　.....１２３
＊第８代孝元天皇
＊第９代開化天皇
＊第 10 代崇神天皇
＊第 11 代垂仁天皇

＊磯城県主が多すぎる　……１４６
＊叔母との結婚が多すぎる
＊謀反が多すぎる（１）第２代綏靖天皇
＊謀反が多すぎる（２）第 10 代崇神天皇
＊謀反が多すぎる（３）第 11 代垂仁天皇
＊もう一度、日本得魂命
＊ハエが多すぎる
＊記紀編纂者は『倭人伝』を取り込んだ（１）入れ墨　……１７０
＊記紀編纂者は『倭人伝』を取り込んだ（２）殉死
＊記紀編纂者は『倭人伝』を取り込んだ（３）大夫
＊記紀編纂者は『倭人伝』を取り込んだ（４）印綬
＊古事記と日本書紀の相関関係　……１８３
＊欠史は卑弥呼のためにある？　……１８８
＊欠史は台与のためにある？　……１８９
＊蝿が飛んだ　……１９３
＊さらば邪馬台国　……２００

――――ここまで、邪馬台国編（上）／ここから、邪馬台国編（下）

＊第３代安寧、第４代懿徳、第５代孝昭、第６代孝安は実在しない？
＊返品される妃
＊神話を盗作した目的は？
＊神武は邪馬台国と同一勢力か敵対勢力か　……２３１
＊イザナギは西暦２００年？
＊第１代神武天皇はいなかった？　……２４１
＊第 10 代崇神＝　……２４８
＊天照大神はいなかった？
＊姫遊び　……２５６
＊謀反はなかった？
＊卑弥呼の没年が、日本書紀に書いてある？　……２７６
＊卑弥呼の父の正体
＊東国支配
＊元伊勢
終章　……３０９

※頁数は bccks 版『小説日本書紀編纂録［邪馬台国編（上・下）］』（紙本 10 インチ判。1 頁 41 字 18 行詰め）のものです。データ本を読むときには多少の目安になります。

※本書と異なり、

漢字のルビは amazon 版、bccks 版とも適度に漢字の横に付いています。

＊さらば邪馬台国

「阿礼」とは、現代で使うところの「在れ」や「有れ」のような、何かの存在を願うときに使う言葉でなく、「誕生する」、「生まれる」を意味する古語だということになります。

大 (おほ) 倭 (やまと) 国 (くに) 阿 (あ) 礼 (れ) 姫 (ひめ) の「国阿礼」とは「国が誕生する」、「国が生まれる」。「大倭国阿礼」とは「大倭の国が誕生する」、「大倭の国が生まれる」となります。「大倭」とは、第４代懿徳天皇（大倭日子鉏友)、第６代孝安天皇（大倭帯日子国押人)、第７代孝霊天皇（大倭根子日子賦斗邇)、第８代孝元天皇（大倭根子日子国玖琉）で使用されるように天皇につく美称であり、中国史書に倭 (わ) 国 (こく) と書かれる古代日本の国名とも連動しています。

・大倭国阿礼姫（倭国香媛）...第７代孝霊天皇の妃
・倭迹迹日百襲姫（倭迹迹姫とも書かれる）...第７代孝霊天皇の娘
・倭迹迹稚屋姫...第７代孝霊天皇の娘
・倭迹迹姫...第８代孝元天皇の娘
・倭国の豊秋狭太媛...第５代孝昭天皇の皇后・大井媛の母（異説扱い）
・千千衝倭姫...第 10 代崇神天皇の娘
・倭姫...第 11 代垂仁天皇の娘

卑弥呼を王として立てた倭 (わ) 人 (じん) の国・倭 (わ) 国 (こく)。

この「倭 (わ)」という文字を、「倭 (やまと)」を名前に持ち、倭 (やまと) の姫、倭 (わ) 国 (こく) の姫として書かれるこれらの女性の中にきっと卑弥呼がいる可能性がありました、そして台与までも。

大 (おほ) 倭 (やまと) 国 (くに) を「中国皇帝から金印を授かる偉業を成した卑弥呼の国」、大倭国阿礼姫を「大倭国（＝卑弥呼の国）を産んだ姫」と捉えれば、大倭国阿礼姫は卑弥呼の母。

〈日本書紀〉
第７代孝霊天皇
｜｜　┌─倭迹迹日百襲姫

｜├─┼─彦五十狭芹彦
｜｜　└─倭迹迹稚屋姫
倭国香媛（絙某姉）

〈古事記〉
第７代孝霊天皇
｜｜　┌─夜麻登登母母曾毘売
｜├─┼─日子刺肩別
｜｜　├─比古伊佐勢理毘古
｜｜　└─倭飛羽矢若屋比売
意富夜麻登玖邇阿礼比売（大倭国阿礼姫）

卑弥呼は大倭国阿礼姫（倭国香媛）の娘である倭 (やまと) 迹 (と) 迹 (と) 日 (び) 百 (もも) 襲 (そ) 姫 (ひめ) か、その妹の倭 (やまと) 迹 (と) 迹 (と) 稚 (わか) 屋 (や) 姫 (ひめ) に相当することになります。

古事記でのそれぞれの表記は夜 (や) 麻 (ま) 登 (と) 登 (と) 母 (も) 母 (も) 曾 (そ) 毘売と倭 (やまと) 飛 (と) 羽 (は) 矢 (や) 若 (わか) 屋 (や) 比売。まず姉の名前だけを並べてみます。

〈日本書紀〉倭迹迹日百襲姫　　やまとととびももそひめ
〈古事記〉　夜麻登登母母曾毘売　やまとともそひめ

微妙に違います。

〈日本書紀〉やまと・とと・び・ももそ（姫）
〈古事記〉　やまと・と　・　　ももそ（毘売）

欠落している言葉は「迹（と）」、「日（ひ）」。妹の表記を並べてみます。

〈日本書紀〉倭迹迹稚屋姫　　やまとととわかやひめ
〈古事記〉　倭飛羽矢若屋比売　やまととはやわかやひめ

これも微妙に違っています。

〈日本書紀〉やまと・と・と　・わかや（姫）
〈古事記〉　やまと・と・はや・わかや（比売）

消えた言葉は「迹（と）」。代わりに増えた言葉は「羽矢（はや）」。
姉と妹から共に欠落している言葉は「迹（と）」。
妹に増えた言葉「羽矢（はや）」は第 10 代崇神天皇が武埴安彦に謀反を起こされたと

き、謎の少女が詠んだ歌、【瀰 (み) 磨 (ま) 紀 (き) 異 (い) 利 (り) 寐 (び) 胡 (こ) 播 (は) 揶 (や)（日本書紀)】、【美 (み) 麻 (ま) 紀 (き) 伊 (い) 理 (り) 毘 (び) 古 (こ) 波 (は) 夜 (や)　美麻紀伊理毘古波夜（古事記)】にありました。

「御 (み) 真 (ま) 木 (き) 入 (いり) 日 (び) 子 (こ)（崇神天皇）よ　御真木入日子よ」

　本作では紹介していませんが、東国征圧の途上、その船が暴風に阻まれ相模灘で漂流する夫・ヤマトタケルのため、荒波を鎮めようと入水自殺した妻・弟 (おと) 橘 (たちばな) 媛 (ひめ) を偲 (しの) んで、ヤマトタケルも【吾 (あ) 嬬 (づま) 者 (は) 耶 (や)（日本書紀)】、【阿 (あ) 豆 (づ) 麻 (ま) 波 (は) 夜 (や)（古事記)】と嘆 (なげ) きました。

「吾 (あ) 妻 (づま) はや」（ああ、我が妻よ）

　「はや（羽矢、播揶、波夜、者耶)」とは、呼びかけや感嘆、詠嘆を表すときに使う言葉です。
　また、倭迹迹日百襲姫、倭迹迹稚屋姫、倭迹迹姫、この３人を第８代孝 (こう) 元 (げん) 天皇周辺に集めていることで非常に「迹迹」という表記に注意が行きます。「迹（と)」を何度も何度も繰り返しています。言葉の意味は「迹（何かがあったしるし

（終）

（本書、無料本はここまで。）

「＊さらば邪馬台国」の項目の完全版は
アマゾンでは
https://www.amazon.co.jp/%E9%82%AA%E9%A6%AC%E5%8F%B0%E5%9B%BD%E3%81%AE%E8%AC%8E
%E3%83%A4%E3%83%9E%E3%83%88-%E3%83%88%E3%82%AA%E3%83%AB/dp/4991030137/ref=tmm_pa

下記の書籍等に収録されています。

日本書紀のトリック

卑弥呼の仮名（かめい）は「倭（やまと）●姫（ひめ）」
卑弥呼の実名は「●太媛」

ヤマトトオル著

解ける！
卑弥呼姉妹
邪馬台国の謎
名前のトリック！
古事記と日本書紀
どちらがより正しい
か――衝撃の「解」

「古事記と日本書紀はトリック小説である」ことの証明＋（プラス）

さらば邪馬台国（部分）

版番号の予定

{{--
--}}

著　者　　書籍情報の編集ページから、著者情報を入力してください

制　作　　Puboo
発行所　　デザインエッグ株式会社